



2018-2019年度 R1テーマ
インスピレーションになろう

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
FAX:054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長:島村 武慶 副会長:大塚 高弘 幹事:玉木 潤一郎 副幹事:平和則

♪ソング... 我らが藤枝ロータリー

♪ソングリーダー... 増田 貴行君

第2271回
通常例会/小杉苑

■ 会長報告

島村 武慶君

本日の例会は地区協議会の報告になります。噂では次年度ガバナーは研修好きとの事ですので、どんな内容か報告を期待したいと思います。



少し時間が経ってしまいましたが、2019年度国家予算が成立しました。一般会計総額が過去最大の 101 兆 4571 億円となり、初めての 100 兆円超えとなった。10 月に予定する消費税率 10%への引き上げ対策に 2 兆円を投じる。消費の落ち込みを防ぐためキャッシュレス決済する人へのポイント還元分に 2798 億円を計上した。防災・減災対策に 1 兆 3475 億円を充てる。医療や年金などの社会保障費は高齢化に伴い 34 兆円に膨らんだ。防衛費も 7 年連続で増加し、5 兆 2574 億円と過去最大となった。

税収は 18 年度当初予算に比べ 3 兆 4160 億円増の 62 兆 4950 億円を見込む。新規国債の発行額は 32 兆 6605 億円に抑えた。中でも、増税対策は私自身も興味津々。約 3000 億円の大盤振る舞いだからだ。

「安倍政権は前回、'14 年 4 月に 5%から 8%に消費税を引き上げた際、景気が悪化したことがトラウマになっています。その轍を踏まないようにと、今回持ち出したのが中小店舗でキャッシュレス、つまり現金を用いない支払いをすれば、金額 5%相当分のポイントが戻ってくるというもの。8%から 10%への増税どころか、減税とさえ言えるような政策まで出してきたのです」そこまでするならば、そもそも消費税を上げなければいいと思えるが、とにかく安倍政権は、2019 年 10 月に予定されている消費増税に備えて、

景気対策を矢継ぎ早に発表している。自動車保有にかかわる税負担の軽減、住宅ローン減税の拡充、住宅購入時の一時金支給、住宅エコポイント制度の復活、プレミアム付き商品券の発行、そして極めつきが増税後 9 ヶ月間、2020 年 7 月の東京五輪前までの期限付きで導入される、5%のポイント還元だ。支払いの 5%相当のポイントがカード会社などから利用者に付与され、その費用を国が負担する。もちろん、財政再建の先行きを不安視する大手メディアや識者からは、消費税の引き上げ幅を超える還元率に「やりすぎ」の声も上がる。必要な費用は 3000 億円に膨らむ見通しだ。

要点はキャッシュレスの支払いであることと、支払い先が中小事業者であることの 2 点だけ。「現在、キャッシュレス決済は 9 割がクレジットカードによるものなので、各種クレジットカードのポイントが還元されることになります。

ポイント還元の対象となる中小店舗はまだ明確に線引きがなされていないが、一般に資本金 5000 万円以下で、小売店なら従業員が 50 人以下、飲食店や宿泊施設なら従業員が 100 人以下の店が目安となる。会食の際の店選びは、クレジットカードで支払うことが可能か、中小店舗の条件を満たしているかを確認しよう。会社の業務に関わる出張などで最も金額が大きいのは、新幹線や飛行機代だと思いますが、これらは大手企業が経営しているため、5%の還元対象にはならないはず。私は「東横イン」を良く利用しますが、宿泊先は全国でチェーン展開しているホテルではなく、ポイント還元をアピールしている地場のホテルを選べばいいことになりますね。

またキャッシュレス決済はクレジットカードばかりではなく、2018 年 12 月 5 日の例会時の挨拶でお話しました。「Pay Pay」等の QR コード決済も対象となるはずですが、今、QR コード決済の各会社のユーザー獲得合戦は熾烈を

争っています。最終的には、「楽天ペイ・Origami Pay・LINE Pay・PayPay」の4社当たりが競争に勝ち残る気がしますが、消費税増税までの短期決戦の場合もありますので、しばらく状況を注目してみたいです。

■ 理事会報告 玉木 潤一郎君

- ・6月例会プログラムが承認されました。
- ・6/19 最終夜間例会について、日程・内容が承認されました。乗車ポイント等を含め案内文を、次回提出となりました。
- ・5/8 臨時総会開催が承認されました。
- ・次年度寄付金及び会費の件について、会費とは別の寄付として個人での判断。理事会としては承認し、総会にはかけない事が決まりました。
- ・定款・細則変更の件について、変更点資料作成の上、説明と配布。総会にかけの事が決まりました。
- ・退会者について、今年度は在籍のままの状態継続審議となりました。
- ・少年サッカーリーグ戦大会ご協賛について、例年通り3万円を協賛いたします。

■ 幹事報告 玉木 潤一郎君

- ・英字版 the Rotarian が届きました。
- ・藤枝明誠中学校、高等学校様より 全国大会出場ご支援の御礼が届きました。

■ 出席報告 渡辺 篤司君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29/43 67.44%	39/43 90.69%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○石間君 ○平君 ○松田君
○松葉隆君 ○村松英君 江崎友君 江崎晴君
大杉君 菅原君 鈴木邦君 鈴木舜君
仲田晃君 中田君

(2)メイクアップ者

石垣 善康君 (4/7 地区研修・協議会)
菅原 慎司君 (4/7 地区研修・協議会)
中田 充君 (4/7 地区研修・協議会)
鈴木 邦昭君 (榛南 RC)
平 和則君 (袋井 RC) 村松 英昭君 (袋井 RC)

■ スマイルBOX 渡辺 篤司君

- ・妻の誕生祝ありがとうございます。いつまでも健康でいて欲しいと思います。 松葉 隆夫君

- ・4/7 地区協議会出席された次年度役員、委員長、リーダー様ありがとうございました。次年度の活躍をよろしく願います。 大塚 高弘君

スマイル累計額 100,000円

■ 地区研修協議会報告

次年度会長
大塚 高弘君



次年度地区職業奉仕委員 村松 英昭君
RLI ミーティング

冒頭、2720 地区パストガバナー中村靖治様より以下のお話がありました。

RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) は、ロータリーの組織や活動に関して正しく、深い知識を持ち高い指導能力のあるロータリアンを育成することを目的としています。

RLI は質の高いリーダーシップの研修を通してクラブの活性化を願った草の根運動です、決して上意下達ではありません。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人ひとりがロータリーの本質を理解し、モチベーションをたかめ、ロータリアン個々のコミュニケーション活動を活発にして、クラブの活性化につなげていく必要があります。すなわち、RLI の目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導制を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

その後選ばれた 12 人の方々によるデモンストラレーション「戦略計画を考えよう」を行ないました。ファシリテーターを 2620 地区高野孫左衛門様が努めました。

質の高い充実した研修会でした。

会員増強維持委員会
委員長
土屋 富士子君



次年度奉仕委員会 委員長 石垣 善康君

次年度の奉仕委員会活動の基本は、「クラブは奉仕の母体—大きな課題は近隣クラブで協力しよう」=複数クラブによる合同奉仕活動です。

加茂川リーダー、菅原リーダーと意見交換の上、活動方針を決めていきたいと思います。

但し、他クラブとの調整、奉仕の内容をどうするか、リードするクラブは、等課題も多く、内容の濃い、真に社会に役立つ奉仕をするためには、ある程度の準備期間が必要と考えます。

その上で、実行可能な合同奉仕活動を計画、実現できるように、委員会活動を行います。

以下に分科会の内容を記載しますので、参考としてください。

次年度奉仕委員会
社会奉仕リーダー
加茂川 誠君



○RI 第 2620 地区研修・協議会における奉仕委員会分科会の内容について

(参加者 石垣・菅原・加茂川)

- 1 次期奉仕委員会コーディネーター 積 惟貞バスターガバナー挨拶
・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕と別々に実施していた分科会を「奉仕委員会」の一つとしてこれから進めることとなった。限られた時間であるが、情報をしっかり受け止め、各クラブで活躍していただきたい。
 - 2 次期奉仕委員会メンバー照会
 - 3 奉仕委員会事業説明
- ①職業奉仕

セミナーにて新会員対象に職業奉仕の意味について啓蒙活動を行う。

→山路副委員長が当日の新会員研修にて説明を実施。

各クラブにおいては、工夫して対応。

②複数クラブ合同奉仕事業支援金

次年度は、複数クラブ合同奉仕を計画した場合に地区より支援金がでる。

支給条件

- ・地区内の複数クラブ合同の奉仕事業
- ・各クラブの参加者が 20%以上
- ・寄付行為ではなく参加ロータリアンの実活動
- ・事業終了後 1 ヶ月以内に地区へ報告、最終期限は 2020 年 5 月 31 日
- ・支援金は 25 事業で申込み先着順
- ・地区補助事業及びグローバル補助事業は本支援金事業の対象外
現在 4 事業が申請・検討中が 3 事業 あるとのこと
- ・申込みの最終提出期限は 8 月 31 日まで

③合同事業の取材・広報

複数クラブ合同奉仕事業を取材しガバナー事務所 HP 等で紹介。

④国際奉仕事業の取材・広報

グローバル補助事業以外の国際奉仕事業の取材とガバナー事業 HP 等で紹介。

4 次期ガバナー補佐 8 名によるディスカッション (要旨)

①合同奉仕事業の検討状況について

- 【次期山梨第 1:井出ガバナー補佐】
・ポリオーダーに合わせた合同実施を検討中
- 【次期山梨第 2:林 ガバナー補佐】
・次期会長・幹事会で提案を依頼中
- 【次期山梨第 3:向山ガバナー補佐】
・7 クラブが会員 20 名以下、合同奉仕事業を 3 件程検討
- 【次期静岡第 1:山本ガバナー補佐】
・会長幹事会で提案依頼 7 月以降でない様子
が分からない。
- 【次期静岡第 2:田中ガバナー補佐】
・各クラブには提案を依頼してあるが、各クラブは現在次年度の計画策定中であり今週末に再度確認する。
- 【次期静岡第 3:佐野ガバナー補佐】
・合同奉仕事業 2 提案の構想がある。
・ゼロからのスターで事業時期が厳しいが参加率を上げたい。

【次期静岡第4:安倍ガバナー補佐】

- ・会長幹事会で合同奉仕事業について説明した。現時点では具体的に話す内容は無い。
- ・6月の会長幹事会に期待している。

【次期静岡第5:鈴木ガバナー補佐】

- ・山崎奉仕委員長のおひざ元であり、2月ごろから各クラブに声掛けし、会長幹事会でも依頼した。現在11クラブ中→8クラブが決定
3クラブが検討中

② 合同奉仕事業における課題について

【次期山梨第1:井出ガバナー補佐】

- ・当グループは富士山に関する事業が多く、クラブごとの運営で大学生や高校生等の連系が継続されており、合同奉仕は調整等に課題がある

【次期山梨第2:林 ガバナー補佐】

- ・グループが再編され、まずは各クラブの事業をしっかりとすることが大切だと感じている。また、クラブとクラブの接点を多くし、お互いがクラブを知ることが先と感じている。

【次期山梨第3:向山ガバナー補佐】

- ・新しいグループで互いの接点が少ない。また、合同でやるには支援金が少なく感じる。地域からのニーズで奉仕事業はやるべきとの意見もあった。また、この取り組みが単年で終わるのか継続的に進めるのかによって、事業は変わると考える。

【次期静岡第1:山本ガバナー補佐】

- ・分布、新しいグループ(伊豆・三島)合同で開催するには地域性から厳しい。(距離がありすぎる)また、地区から合同奉仕事業をやりなさいと上からでは下からでないという意見も多い。

【次期静岡2:田中ガバナー補佐】

- ・会員の少ないクラブは是非、この支援事業を活用してほしいと思う。

【次期静岡第3:佐野ガバナー補佐】

- ・計画策定に時間がない。また、継続性についても決められていないため、準備や時間が少なすぎる。また、合同事業で実施したい事業が5月・6月では今回の条件に当てはまらなくなることもある。

【次期静岡第4:安倍ガバナー補佐】

- ・時間が無さすぎる。来年・再来年はどうなるのか見極めたい。また、今回、認定された事業の内容を見て対応したい。

【次期静岡第5:鈴木ガバナー補佐】

- ・継続性については、早く方針を示してほしい。

やらされ感が残っているのではと心配している。

※司会者より発言

- ◆次年度も合同奉仕事業の支援金制度は継続すると聞いている。翌々年度は分らない。

③ その他意見

【山梨第3:向山ガバナー補佐】

- ・新しい事業検討が必要だと感じている。対象を子供や地域、地域イベントとの協賛等

【静岡第3:佐野ガバナー補佐】

- ・グループ内の交流をしっかりと行い。奉仕委員会の親睦も必要。

【静岡第5:鈴木ガバナー補佐】

- ・今回、合同事業を検討している中で、海洋プラスチックの問題で海岸沿いを歩きマイクロプラスチックが多数あることから生態系・海洋動物のことを考えインターアクト・ローターアクトとともに4つのクラブが事業検討してくれている。他のクラブの参考になれば。

司会者 ◆各クラブ知恵を使って考え行動してほしい。

5 閉会



奉仕委員会分科会の様子

ロータリープログラム委員会

委員長 仲田 廣志君

活動方針

委員は自ら活性しお互いのつながりを実感しながらプログラム委員会を伸展させ輝かせよう。

活動内容

インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換事業を通してロータリーの伸長発展に繋げたい。

ロータリーにおける危機管理について

活動にあたっては、青少年に対する性的虐待・ハラスメントの不祥事に細心の注意を。

インターアクト年次大会について

藤枝順心高校にて開催。8月3日（土）

青少年交換事業

交換学生受け入れに理解と協力を。

交換学生受け入れ等に関するアンケート要請。

国際ロータリー 第2620地区プログラム委員会
2019年4月7日

ロータリー青少年交換事業 交換学生受け入れ等に関するアンケート

本委員は、ロータリープログラム委員会活動に、格別のご高意を賜り厚く感謝申し上げます。
さて、最近の青少年交換事業における困難点といたしまして、留学希望の学生、また、その受け入れとしてのロータリークラブ（スポンサーロータリークラブ）が、なかなか見つからないことから、国際理解、国際親善として素晴らしいプログラムでありながら半壁化に至らないケースがでてきています。今一度、担当にかぎりマルチクラブでの受け入れや、ホストファミリーとしての在り方、地区委員会としての役割、支援、対応等を検討したいと思っておりますので、アンケート内容をクラブ会員のみなさまに御覧いただき、ご意見を伺いする次第です。
どうぞ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

クラブ名	ロータリー	会長名
------	-------	-----

※ 何れかに✓を記入してください。

1. 青少年交換プログラム
 参加してみたい
 参加したいが、プログラムの仕組み、内容がわからない
 参加予定無し
2. インターアクト/プログラム
 参加してみたい
 参加したいが、プログラムの仕組み、内容がわからない
 参加予定無し
3. ロータリーアクトプログラム
 参加してみたい
 参加したいが、プログラムの仕組み、内容がわからない
 参加予定無し

※ 1～3で参加予定無しと回答した場合、その理由をご記入ください。

地区プログラム委員会では、地区委員による寄附助成、青少年交換プログラム終了者（帰国学生）による奉還等を受け付けておりますので、ぜひ各クラブ例会プログラムにてご検討いただきたく、お願い申し上げます。

提出日 2019年5月31日
提出先 2620地区ガバナーエレクト 豊穂 尚一 プログラム委員会 委員長 小瀬野 比呂
E-mail 13to20g.anma@r2620.jp FAX 053-456-2621 TEL 053-456-2620

分科会の内容、上記の通りご報告いたします。

米山記念奨学担当 リーダー 鈴木舜光君 代理 青島 克郎君

4月7日に開催されました地区研修・協議会の米山奨学委員会分科会にクラブの米山委員長の鈴木舜光君の代理で出席いたしました。

12時30分からの分科会では志田洪顯 地区アドバイザーの挨拶の後、「世界へ届け米山の架け橋」というDVDが上映され、米山奨学会の活動や、学友会の紹介がされました。

そのあと、今年度の長田達彦地区委員長による米山梅吉翁についての話があり、続いて次年度の影山忠弘地区委員長による米山奨学事業の詳細な説明がありました。

日本独自の米山記念奨学金制度は RI から

高い評価があり、他国でも同様の奨学金制度を検討するところもありそうということです。米山奨学会寄付の地区目標は普通寄付が4000円、特別寄付が12000円となっています。目標額未達のクラブへの達成と、記念館50周年事業への年額3000円を3年間という特別寄付のお願いもありました。

当クラブは年額2000円で当地区での最低額ですが78クラブ中32クラブが同額となっています。それ以外では、最高額は16000円が2クラブで他は4000円を中心に様々です。ロータリーの分担金やロータリー財団等の寄付要請の額も年々増額され会員やクラブの負担が年々大きくなってきています。

また、米山奨学金事業に対しては石垣君や土屋富士子君が積極的にカウンセラーを引き受けてくださりクラブの地区に対しての貢献度は大きいと感じます。

日時 4月7日（日）10:30～16:00

場所 浜松アクトシティ大ホール



ロータリーの友紹介 池ノ谷 敏正君

『ロータリーの友 4月号紹介』
ロータリーの友4月号を横組みから紹介します。まず、3ページ。今月が母子の健康月間であることに對し、RI会長のメッセージが掲載されています。いきなりショッキングともいえる言葉が飛び込んできます。皆様は、どう感じますでしょうか。

続く7ページからの特集は、「命の重みを感じて
ますか?」と題して、各地のロータリークラブが
取り組んでいる活動が紹介されています。

7ページ冒頭に記された文言。皆様はどう思われ
ましたでしょうか。

自分の子ども、孫たちが生きていくであろう
我が国日本の実情。

自分の子どもや孫たちは大丈夫、と断言でき
ますか。是非この特集を読んでいただき、家族を
見守る立場としての知識を得ていただければと
思います。

さらに16ページには、海外で「母子の健康事業」
を行っている相模原橋本ロータリークラブの
活動が紹介されています。こちらの記事も是非
ご覧ください。

31ページからはR I 指定記事、「ロータリーを
活用しよう」。

我々が会費から支払っている人頭分担金がどの
ように使われているかが掲載されています。

それが、ロータリー会員、クラブに対するR I が
行っている支援。

何か自分に役立つものはないか、確認してみては
いかがでしょうか。

続く28ページの「ガバナーのロータリー・
モメント」には、第2620地区星野ガバナーの
記事が掲載されています。ガバナー活動の感想
ともいえる文章です。こちらもご覧ください。

続いて縦組みのページの紹介です。

4ページからは毎号おなじみのメイン記事
「スピーチ」。

今月は横組み記事と連動していると思える内容で、
昨年5月国際ロータリー第2820地区の
地区大会記念講演での小児外科医吉岡秀人氏の
講演要旨が掲載されています。

いつもに増して、私には読みやすい文章で、
一気に読み終わりました。

当然、会員全員にお勧めするのですが、特に
現在仕事に脂ののっている年齢の若い会員に
お勧めします。

自分の生きる意味についても吉岡氏の持論が
展開されており、とても興味深く読みました。
是非ご一読ください。

16ページの右下に、「わがまちの味帯広インディ
アンカレー」が紹介されています。

北海道へ出張することがある方は、是非これ
を読んで、食べてみてはいかがでしょうか。

最後に18ページの「卓話の泉」には、高速
道路のマメ知識と題した卓話が紹介されています。

これを知って高速道路を走ってみると、なるほど
って感じで、面白いですよ。

以上、簡単ではありますが、ロータリーの友
4月号の紹介をさせていただきました。



《4月～5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
4/15	16	17	18	19
10:00~ 16:00	閉局	9:30~ 17:00	10:00~ 16:00	閉局
22	23	24	25	26
10:00~ 16:00	閉局	10:00~ 16:00	10:00~ 16:00	10:00~ 17:00
29	30	5/1	2	3
閉局	閉局	閉局	閉局	閉局
6	7	8	9	10
閉局	10:00~ 17:00	9:30~ 17:00	閉局	閉局
13	14	15	16	17
10:00~ 16:00	10:00~ 16:00	9:30~ 17:00	閉局	閉局
20	21	22	23	24
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
27	28	29	30	31
10:00~ 16:00	閉局	閉局	10:00~ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

(担当/青島鉄君)